

「岐阜県ふるさと教育表彰」実践報告書

市町村名	山県市	学校名	山県市立伊自良北小学校			
校長名	後藤昌美	対象学年	全校	人数	46名	
活動名	ふるさと学習		時間数	17時間	継続年数	約20年
題材	①自然環境（山野・河川・動物・植物・その他） [ギフチョウの観察・保護活動] 2 歴史（出来事・史跡・先人・その他） [] ③文化（芸能・芸術・民話・風習・その他） [雨乞い太鼓「伊自良十六拍子」の伝承活動] 4 地場産業（農業・水産業・伝統工芸・その他） [] ⑤絆を深め、よりよいふるさとをつくる活動 [「地域先生」との学び合い] 6 その他（ ） []					
複数年継続するための工夫改善	伊自良地域の教育資源を活用した「ふるさと教育」や「環境教育」を学校経営の重点の一つに位置付け、職員の共通理解を図るとともに、児童、PTA、地域が一体となって取り組んでいる。その活動状況を保護者・地域に発信することで、理解と協力を得られることに努めている。その結果、児童や職員に異動があっても「地域の学校」としての伝統を引き継ぎ、地域との連携を進めている。					
<p>1 ねらい 地域の文化・歴史、自然・産業、人々のあたたかい心などに「触れ」、学年の発達段階に応じて「知り」、自分たちの誇りとして未来に「引き継ぐ」教育活動を通して、ふるさと伊自良に愛着と誇りをもつとともに、将来、自分が住む地域の発展に対して積極的に関わっていくことができる児童を育成する。</p> <p>2 活動の概要 ①自然環境 ギフチョウの観察・保護活動 地域の専門家等から、生活科や総合的な学習の時間に「ギフチョウ先生」として、指導を受け、野外活動などにも取り組んでいる。 ②文化・芸能 雨乞い行事「伊自良十六拍子」の伝承活動 「伊自良十六拍子保存会」の会員から指導を受けている。年間を通して、全校児童が取組をしている。毎年、8月に開催される伊自良地域の「いじら夏祭り」や2月の「山県市市無形民族文化財公演会」などの地域の行事にも参加している。 ③校区にある教育資源の活用「地域先生と学び合い」 生活科、総合的な学習の時間の指導計画の中に、地域の教育資源の活用を位置付け、自然観察、そばの栽培や連柿づくりなど「地域先生」と連携している。</p> <p>3 地域住民との関わり、地域社会への貢献の様子 年間を通して取り組んでいる成果を校内行事はもちろん、地域の行事等でも積極的に発表している。昭和初期、伊自良川の堤防を太鼓を打ち鳴らして霊峰釜ヶ谷の頂上を目指した頃を知っている人たちにとっては、運動会や地域の行事で発表する鼓の響きは、郷土のよさを感じる場面である。世代を超えた絆が生まれている。 岐阜国体オープニング、「いじら夏祭り」オープニング、山県市重要無形文化財舞台発表会「市制10周年記念式典」の発表と未来宣言、「岐阜県みどりの祭り」の式典、地域の公民館行事等での発表など、教育課程外でも希望する児童による活動を行っている。何十年にもわたって地域で生活し、仕事をしている「地域先生」から学んだことを中心に、年度末の「学習発表会」で、保護者、地域に向けてその成果を発表している。</p> <p>4 活動による児童生徒の変容（伸長・成長等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校区を中心に、地域の自然、文化歴史に興味・関心をもち、さらに深く学ぼうとする態度が育っている。 ・地域に愛着や誇りを感じている。 ・他者とのかかわる力、主体的な学習姿勢、表現する力などが高まっている。また、自己肯定感や自己有用感が育まれている。 						